



いまばり探求  
**朝倉**  
あさくら

いまばり探求  
**大西**  
おおにし

笠松山麓の野々瀬地区には、古墳時代後期～終末期(6～7世紀頃)の円墳 20 基余りが現存しています(野々瀬古墳群)。

また、笠松山(標高 328m)は、尾根でつながる世田山(標高 339m)とともに、南北朝合戦の古戦場・世田山城跡で知られ、『太平記』巻 22 には“世田ノ城”で登場し、南朝の将・大館氏明の戦死と塚篠伊賀守の逃亡が知られています。

この付近から 7 世紀末頃の寺院の瓦と礎石が出土(本堂廃寺)

**朝倉**  
Asakura



① 七間塚古墳 (県指定史跡)  
直径20m前後の円墳で、横穴式石室の全長は10m。

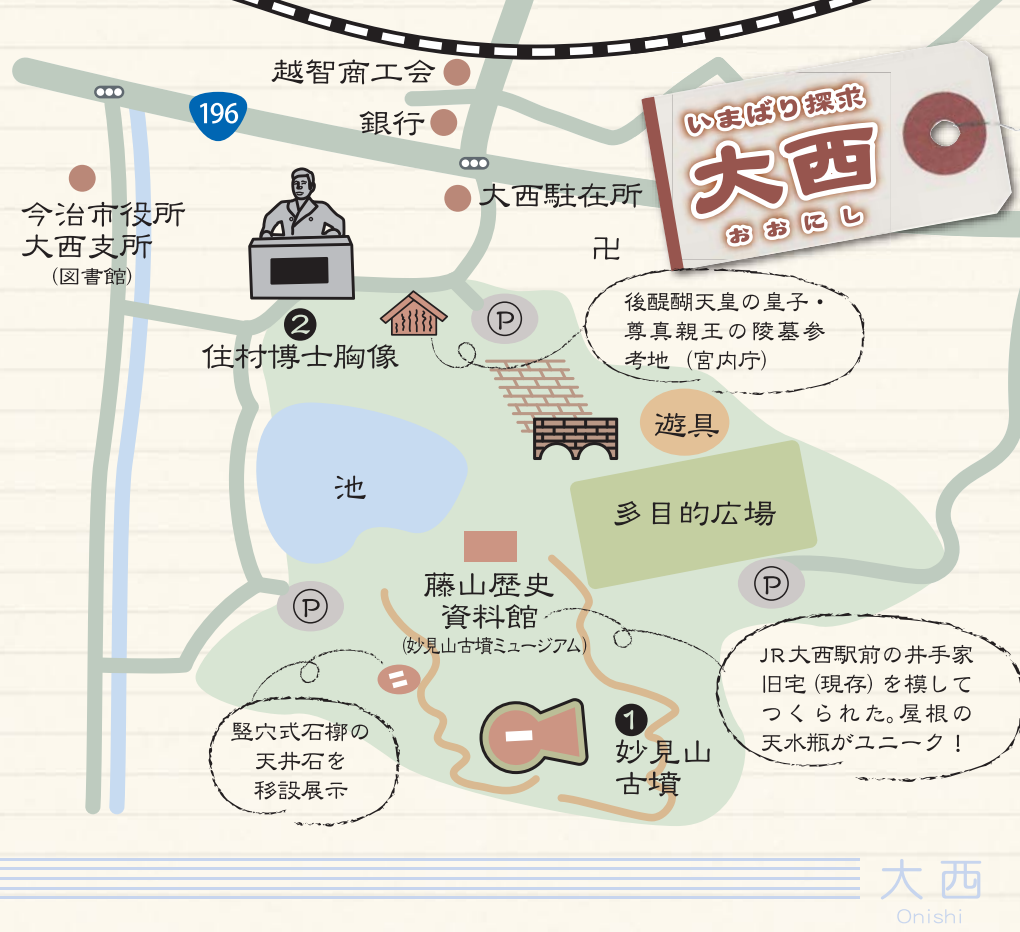


② 五間塚古墳 (市指定史跡)  
王塚とも呼ばれる円墳で、横穴式石室の全長は9m。



樹之本古墳 (市指定史跡)  
周越道路沿いにある古墳時代中期(5世紀頃)の円墳で、希少価値の高い青銅鏡(細線式獣帯鏡)や埴輪・陶質土器などが出土している。※青銅鏡は東京国立博物館所蔵

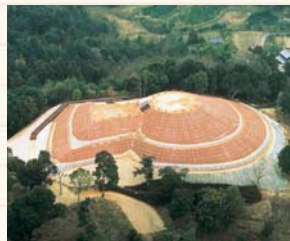
野々瀬地区以外にも、朝倉地域には古谷地区の多伎神社境内などに円墳の群集墳が現存しています。朝倉地域から出土した考古資料は、朝倉ふるさと美術古墳館で見学できます。  
※朝倉ふるさと美術古墳館(月曜休) 0898-56-3754



**大西**  
Onishi

国道 196 号線沿いにある藤山健康文化公園は、芝生の多目的グラウンドや充実した遊具で、休日は親子連れで賑わう人気スポットです。春は池のほとりで花見も楽しめます。

この公園の展望台(標高 80m)となっているのが妙見山古墳(1号墳)で、斎灘と大西平野が一望できます。学術成果を活かした復元整備が評価され、遺跡としては初のグッドデザイン賞(平成9年度)を受賞しています。



① 妙見山古墳 (国指定史跡)  
竖穴式石槨は見学可・月曜休み(10:00～10:30、15:00～15:30)  
古墳時代初期・3世紀後半の前方後円墳とされ、全長55m。出土品には、畿内系の二重口縁壺や九州とのつながりが考えられる破砕された斜線四獣鏡があり、伊予型特殊器台は弥生後期の松山平野を中心とする西瀬戸内系器台の影響が見られる。



② 住村博士胸像  
大西町出身の外航船長。昭和45(1970)年2月に大型鉱石運搬船「かりふおるにあ丸」(全長218m・34,001総トン)に乗船して房総半島沖を航行中、異常な大波に襲われ沈没。乗組員の救助を優先して、自らは船と運命とともにした(44歳)。その大波のメカニズムは、海洋物理学の世界で今も解明中。